

2025 年 7 月 29 日発行

一般社団法人日本音楽療法学会 中国支部

ニュースレター 第 46 号

e-mail : jimukyoku.jmtacc@gmail.com

ホームページ : <https://jmta-cc.org>

ごあいさつ

中国支部支部長 武田 千代美

今年は大変に早い梅雨明けとなり、猛暑の日々が続いております。会員の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。平素は中国支部の活動にご理解、ご協力を賜りまことにありがとうございます。

中国支部からの情報はホームページから発信されております。このニュースレターをはじめ、色々な情報をより多くの皆様にお届けできたと願っております。中国支部のホームページが多くの皆様のお役に立つ情報源となりました幸いです。

そのために、皆様にメーリングリストへのご登録をお勧めしております。

詳しくは、ホームページをご覧ください。

さて、去る 6 月 28 日・29 日、岡山市の岡山国際交流センターと、岡山県医師会館 三木記念ホールにおいて、第 29 回講習会、並びに第 23 回支部大会を開催いたしました。大会長の筒井恵子先生をはじめ実行委員の皆様には、大変なご尽力を賜りました。

ご講演賜りました先生方、関係者の皆様に、改めましてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

今回の大会では、久しぶりにコロナ禍前のような懇親会も開催され、大変楽しいひと時を過ごすことができました。会員同士の交流がとても大切なものであることを改めて感じました。中でも、若い世代の皆様が大いに活躍され、大会を盛会に導いてくださったことは、特筆すべきうれしいことでした。

会員の皆様がそれぞれにその持ち味を生かして活躍されることが、音楽療法の発展につながるものと感じる大会となりました。

今後の支部の活動のために、皆様の積極的なご意見や、ご要望をお知らせください。

第 29 回日本音楽療法学会中国支部講習会、並びに第 23 回支部大会を終えて

大会長 筒井 恵子

猛烈な暑さの毎日でございますが、皆様ご清祥のこととお慶び申し上げます。さて、去る 6 月 28・29 日の両日、岡山市において、2025 年度第 29 回日本音楽療法学会中国支部講習会、並びに第 23 回支部大会＜岡山大会＞「未来へつなぐ音楽療法～医療福祉発祥の地、岡山から～」を、開催いたしましたところ、多くの皆様にご参加頂きまして、有難うございました。

1 日目の講習会は、長い間、認知症の方達に関わって来られた秋山千広先生の「認知症ケアと音楽療法」でしたが、看護師さんの立場で様々な患者様の特質や患者様との具体的な接し方を、エピソードを交えて語って頂きました。柴田朋子先生からは「対象者とともにつくられる音楽療法士の行為と役割」、セッションの様子を実写で、拝見することが出来、青拓美先生からは「音楽療法における歌唱伴奏のコツ」をリクエストされる曲で実演していただき、興味深く楽しい講習会でした。

また、夕方の懇親会には、青先生も加わって下さり、若い会員の方達の進行で、盛り上がり、和気藹々とそれぞれの活動やアイデアを伺い良い交歓の場となりました。

2 日目の大会では、岡山の風土が生んだ医療・福祉の先駆者緒方洪庵、「福祉の四聖人」と大原孫三郎らの功績をご紹介します。私たちは音楽療法の活動において「できた」「わかっ

た」「楽しかった」と感じられる成功体験を増やしていきたいと思います。また、認知症の方の増加が課題となっていますが、高齢者も子供も居場所づくりに音楽療法を用いて行くことで社会での孤立を防いでいくことが様々な観点から求められていることとお話いたしました。また、基調講演においては、社会福祉法人旭川荘名誉理事長の末光茂先生の「ともに生きる地域づくりの宝～音楽と障がいの未知の力～」では、戦後の早い時期に医療が必要な子供たちのための施設を考えられた医師達と著名な音楽家や障がい者とのコラボのお話を伺いました。

また、未来をつなぐ音楽療法士の皆様とご一緒にこれからを考え、歩みを進めていきたいと願っております。今回の大会において、私は名ばかりの大会長でしたが、スタッフの皆様のチームワークと行き届いた気遣いのお蔭で、素晴らしい大会になりました。心からの感謝の念を申し上げます。本当に有難うございました。

第 23 回日本音楽療法学会中国支部大会に参加して

山下 世史佳

1 日目の講習会、秋山先生の『認知症ケアと音楽療法』では、病院の看護師として認知症者と関わられてきた中での患者様の認知症の特徴や接し方のコツなどをお話いただきました。豊富な経験をお持ちの先生からしか学ぶことのできないような逸話の数々もお聞きできました。柴田朋子先生の『対象者とともにつくられる 音楽療法士の行為と役割』では、自閉スペクトラム症などの障がいをお持ちの方が音楽で自己表出する瞬間を捉えられ、セッション中に起こった出来事を質的に教えていただきました。音楽療法士には受容と個性を引き出す力が必要だと思い知らされました。青拓美先生の『音楽療法における歌唱伴奏のコツ』では、様々なジャンルのピアノ伴奏のコツを教わりました。単純なコードの多い童謡が、先生が少しコードをアレンジされるだけでおしゃれで心に響く伴奏に様変わりし、参加者も先生の伴奏に合わせて、のびのびと曲の世界観に浸って歌うことができました。

2日目の大会長のご講演では、わかりやすく音楽療法の詳細をお話いただき、参加者も参加できる実践的な音楽療法体験の時間もありました。大会長の温かさや懐の深さを感じられる音楽療法で勉強になりました。末光茂先生のご講演では、岡山の地で一から施設を発展させられてきた経緯をお話くださり、地域を巻き込んだ活動の輪に感動しました。1日目には懇親会もあり、音楽療法だけでなく何気ない話に花が咲き、盛り上がりました。

今回は岡山で開催ということで、私は実行委員として参加させていただきました。様々な場所で活躍されている音楽療法士の先生方や音楽療法にご興味をお持ちの皆様と出会うことができ、実り多き時間となりました。これからも音楽療法の発展を願って頑張っていこうと強く思えた2日間でした。ご講演いただいた先生方、中国支部や実行委員の先生方、ご来場いただいた全ての皆様に感謝します。ありがとうございました。

秀岡 素子

約1年前より会場の予約から始まり数々の準備に関わりました。厳しい暑さの中、無事に大会を終えることができ、ほっとしております。講師の先生方、支部の役員、参加していただきました会員、他支部会員、市民公開講座に参加いただきました一般参加の皆様に厚くお礼申し上げます。

岡山ならではのテーマをと思ったのが始まりでした。実行委員会で考え到達したところは医療福祉の発祥の地である岡山。原点に返り学びなおし、未来へ繋ぐために次の一步を踏み出したいと考えたのがテーマとなりました。今後の音楽療法士としての在り方を、今一度考え直すことができる良い機会であったと感じていただければ幸いに存じます。

昨今の異常な気象状況に皆様の体調が一番に案じられ、不測の事態の対応はどうしたら？数日前から AED 設置場所の確認などイメージしながら、心配で睡眠時間がとれなくなり、自分はどうなってしまうのか？と大きな不安を抱えて当日を迎えました。

実行委員は各役割に集中し、手が足りないところは助け合う素晴らしい仲間たちでした。大会に参加していただいた先生方には、今後の方向性も含めて積極的な意見をいただき、活かして行けたら幸いです。皆様の活躍をお祈り申し上げます。ありがとうございました。

2025年6月28日(土)・29日(日)に開催された第23回支部大会および第29回講習会に参加いたしました。便利な尾道松江道を利用して、マイカーで約2時間。岡山駅近くに到着した際には、偶然「おかでんチャギントン」に出会い、旅の気分が一気に高まりました♪ 28日(土)の講習会では、どの講義も魅力的で、実践的な学びが多くありました。登壇された先生方に共通して感じたのは、目の前のクライアントの気持ちに深く寄り添い、ご自身の経験や力量を活かしながら、柔軟な思考と実行力で対応されているという点です。まさに教科書には載っていない、現場ならではの知恵と工夫に満ちていました。

秋山千広先生の『認知症ケアと音楽療法』では、「新しい方法を生み出し、世に出すこと」の大切さについてのお話が印象的で、音楽療法にも通じるものがあると感じました。柴田朋子先生の『対象者とともにつくられる音楽療法士の行為と役割』では、音楽療法士として揺れ動く自身の気持ちと向き合いながら、どのように力になれるかを模索し、アイデアを形にしていって過程を共有してくださり、大変参考になりました。青拓美先生の『音楽療法における歌唱伴奏のコツ』では、鍵盤を映しながらの実演を交えた講義で、原曲のリズムを捉えた演奏法や、音数が少なくても倍音を活かして響きを作る工夫など、伴奏のヒントをたくさんいただきました。また、音程のない手遊び歌の伴奏法もご紹介くださり、早速実践してみたいと思いました。

29日(日)の支部大会では、大会長講演および末光茂先生による基調講演にて、岡山県における医療福祉の歴史についてご紹介がありました。お隣の県でありながら知らなかったことも多く、自身の視野を広げる機会となりました。この2日間、ご準備・ご運営に携わってくださった皆さまに心より感謝申し上げます。貴重な学びと出会いに満ちた、充実の2日間でした。

6月28日（土）に岡山国際交流センターにて第29回講習会を、29日（日）に三木記念ホールにて第23回中国支部大会を開催いたしました。筒井恵子大会長のもと、14名の実行委員で力を合わせて準備を進めてまいりました。二日間で計167名もの方にご参加いただき、会員ならびに市民の皆様の温かいご支援のもと、盛会のうちに終わりましたことを心より深く感謝申し上げます。

講習会では、秋山千広先生に「認知症ケアと音楽療法」、柴田朋子先生に「対象者とともにつくられる音楽療法士の行為と役割」、青拓美先生に「音楽療法における歌唱伴奏のコツ」と題してご講演いただきました。デモンストレーションも交えた講義もあり、現地開催ならではの大きな学びを得ることができました。

講習会終了後、久しぶりに懇親会を開催いたしました。「自己紹介タイム」では、お互いの新たな一面や、現在の取り組みや目標についても知るきっかけになりました。美味しい料理を囲んで、会員同士の親睦を深めることができました。

大会では、午前中に市民公開講座、午後に演題発表を行いました。市民公開講座では、筒井恵子大会長に「未来へつなぐ音楽療法～医療福祉発祥の地、岡山から～」、末光茂先生に「ともに生きる地域づくりの宝～音楽と障がいの未知の力～」と題してご講演いただきました。事前申込みを上回る数の市民の皆様がご来場くださいました。

私は今回、初めて実行委員を務めさせていただきました。実行委員全員で掲げた「参加してくださる方に、精一杯、心のこもったおもてなしをしよう。」という思いのもと、ご一緒できたことを大変光栄に存じます。

最後になりましたが、これからも会員同士の横のつながりを大切に、音楽療法を必要としている方々により良い支援を提供していけますよう、皆様の益々のご発展を祈念申し上げます。ありがとうございました。

6月28日から2日間にわたり、中国支部大会・講習会に参加いたしました。

1日目の「認知症ケアと音楽療法」、「対象者とともにつくられる音楽療法士の行為と役割」では、クライアントのために何ができるか、それを叶えるための行動力に圧倒させられました。また、発信していく力や人との関わり大切さを学ばせていただきました。また、「音楽療法における歌唱伴奏」では、音楽のジャンルに合ったリズム等を教えていただきました。青先生の素敵な伴奏に合わせて歌うことで、伴奏の大事さを勉強させていただき、「あんなに素敵に弾けたらな～」と思い、岡山から帰宅後にはピアノに向かう自分がいました。

2日目は～医療福祉発祥の地、岡山から～というテーマで、医療福祉の歴史について学びました。私には音楽療法で何ができるのか、もっと追究していかなければと考えさせられました。2日間にわたり大変貴重なお話を聞くことができましたので、音楽療法に活かしていきたいと思いました。



今後の支部活動のお知らせ

・2025年度ラーニング・サポート・センター（LSC）

日時：2026年2月～3月頃

日程や開催場所などの詳細につきましては、追って中国支部ホームページでお知らせいたします。

日本音楽療法学会 第23回中国支部総会報告

第23回日本音楽療法学会中国支部大会時の6月29日（日）に、第23回中国支部総会が開催されました。第1議案～第4議案までが承認されました。

議案

- (1)2024 年度事業報告
- (2)2024 年度収支決算報告
- (3)2025 年度事業計画
- (4)2025 年度予算案

報告

- (1) 第 24 回支部大会・第 30 回講習会

山陰で開催予定ではあるが、詳細についてはホームページ等で周知することが報告された。

- (2) ラーニングサポートセンター（LSC）について

2024 年度 LSC 講習会の実施状況および 2025 年度講習会予定について報告された。

- (3) 支部運営について

現役員は 2026 年 6 月で任期満了となることが報告された。

支部における会計監査の継続の是非を検討することが報告された。



中国支部ホームページおよびメールリングリストにて各認定団体主催の講習会の開催予定をお知らせいたします。

参加のお申し込み、お問い合わせは、直接、各認定団体に行ってください。支部事務局ではお取り扱いできませんので、ご了承ください。

第23回総会議案書を中国支部ホームページの支部会員専用サイトにアップしております。ご覧いただくには、パスワードの入力が必要となります。パスワードにつきましては、2023年秋に郵送したご案内をご参照ください。

ご不明な点がございましたら、中国支部事務局（ jimukyoku.jmtacc@gmail.com ）までお問合せください。

♪メーリングリスト運用上のルールについて♪

登録アドレスを変更される場合は、件名を「メーリングリスト登録アドレス変更」とし、本文に、会員番号、氏名、変更前のアドレスと変更後のアドレスの両方を明記し、chuugoku.mlist@gmail.com までお申し出ください。

転居等により他支部へ移られる場合や、メーリングリストの登録解除を希望される場合は、件名を「メーリングリスト解除」とし、本文に、会員番号、氏名、登録アドレスを明記し、chuugoku.mlist@gmail.com までお申し出ください。

尚、転居等をされた方は、以下の「会員の異動および住所変更について」もご確認の上、すみやかに必要な手続きを行ってください。

♪ 会員の異動および住所変更について ♪

会員の皆様が、転居等により支部を移られる場合、あるいは、住所変更された場合は、すみやかに日本音楽療法学会事務局（下記連絡先）にご連絡ください。支部事務局では、学会事務

局から隔月に送られてくる名簿により、発送の事務を行っております。したがって、支部事務局に住所変更、入会・退会のご連絡をいただきましても、支部ではお手続きができませんので、ご承知おきください。

住所・名義の変更は、インターネット上で行うことができます。日本音楽療法学会ホームページ <http://www.jmta.jp/formalities/change.html> から変更してください。

また、大学卒業後も学生会員のまま、登録変更をされてない方がおられます。学生会員の方は、卒業後すみやかに正会員への変更手続きを行ってください。

入会・退会手続き 会員区分変更手続き 住所変更手続き 等につきましては、会員番号・氏名・旧住所（旧所属支部）・新住所 を明記され、学会事務局にご連絡ください。

日本音楽療法学会事務局

〒105-0013 東京都港区浜松町 1-20-8 HK浜松町ビル6階

また、お届けの住所の居住者表示と会員の苗字が異なる場合は、「～方」までお届けください。学会事務局及び支部事務局からお送りするニュースレター等は、メール便で送られるため、居住者表示と異なる場合、返送されるようになっており、お届けできておりません。

転居して他支部へ所属が変わられる際には、住所変更をしていただきますと、学会事務局のほうで自動的に所属支部の変更を行いますので、支部の変更の手続きは必要ありません。

